

【背景・課題】

国立公園、国定公園等の自然体験拠点における案内板やビジターセンター・世界遺産センター等の展示物については、主に日本語での解説が多く、外国人旅行者に国立公園等の自然などの魅力が十分伝わらない。また、国立公園では一定の英語解説文整備が進みつつあるものの、利用者の多様な言語には未対応であり、国定公園等では英語解説文整備が十分進んでいない。

訪日外国人利用者が多く見込める自然体験拠点における多言語化の効果を高めるには、国立公園、国定公園等の自然体験拠点において取り組みを進めることが必要。

【事業内容】

これまでの観光庁多言語事業の成果を活用しつつ、国立公園、国定公園、長距離自然歩道等の案内板やビジターセンター等の展示物、その他各種関係コンテンツ等について、ICTなども活用し、英語・中国語・韓国語等の多言語にて、外国人目線で分かりやすく魅力的な多様な解説整備をエリア一帯で促進。

【効果】

各国立公園等にて魅力的な多言語解説が整備されることによる、訪日外国人の国立公園、国定公園等での体験滞在の満足度の向上、滞在の長時間化、ひいては消費額の増大に資する。

【事業実施スキーム】

- <直轄> 環境省 → 民間事業者
 - <補助> 環境省 → 中間執行団体
 - 地方公共団体、DMO、
 - 観光協会、民間事業者等
- 補助率：2 / 3

【補助要件】

<国立公園> 観光庁多言語解説支援事業で作成した解説文を活用すること

<国立公園以外> 観光庁の作成指針等に基づき解説文を制作すること

(令和5年度見直し内容)

- ・デジタル手法含めた海外への情報発信を含む整備計画について加点
- ・観光庁のガイドラインの下で作成した解説文の媒体化
- ・成果の調査、適正な成果評価の検討と効率的な事業実施をサポートする手引書の作成の追加



QRコードから
Digitalアプリへ

